## しょうがいしゃさべつかいしょうほう 障害者差別解消法

が改正されました。

ほうりつ せいしきめいしょう しょうがい りゅう きべつ かいしょう すいしん かん ほうりつ 法律の正式名称:障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律

令和3年(2021年)5月に障害者差別解消法が改正され、事業者による合理的配慮の提供が義務化されました。改正法は、令和6年(2024年)4月1日に施行されました。

	ふとう きゃってきとりあっか <b>不当な差別的取扱い</b>	しょう <b>障がいのある人への</b> ごうりてきはいりょ ていきょう 合理的配慮の提供
くに ぎょうせいきかん 国の行政機関 ちほうこうきょうだんだい 地方公共団体など	禁止 **・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	はません。 法的義務 合理的影響を行わなければいけません。
またかんじぎょうしゃ <b>民間事業者</b> など 個人事業者や NPO など 非営利事業者も含まれます。	<b>禁止</b> ***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

## こうりてきばいりょ ていきょう 合理的配慮の提供とは

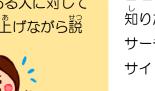
障がいのある人から、社会の中にあるバリア(障壁)を取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応することをいいます。 重すぎる負担があるときでも、障がいのある人に、なぜ負担が重すぎるのか理由を説明し、別のやり方を提案することを含め、話し合い、理解を得るように努めることが大切です。

## できまれりょ れい <合理的配慮の例>

覧差がある場合に、スロープなどで補助をする。



視覚に障がいのある人に対して 書類の内容を読み上げながら説 明する。



こうりてきはいりょ 合理的配慮の事例を詳しく し 知りたい人は、「合理的配慮 ないかくふ サーチ」(内閣府の公式Web サイト)をご覧ください。





## Q&A

- Q 対象となる「障がいのある人」とは?
- A 障害者手帳の有無にかかわらず、 身体障がい、知的障がい、精神障がい (発達障がいを含む)、その他の心で 体のはたらきに障がいがある人で、 障がいや社会の中にあるバリアによって、日常生活や社会生活に相当な制限を受けている人すべてが対象です。 (障がい児も含まれます。)
- Q 不当な差別的取扱いの禁止とは?
- A 障がいのある人に対して、ご当な ったでする。 理由なく、障がいを理由として、サービスの提供を拒否することや、制限 すること、障がいのない人にはつけ ないような条件をつけることなどが 禁止されます。

まつやまし ふくしすいしんぶ しょう ふくしか 松山市 福祉推進部 障がい福祉課

TEL: 089-948-6353 FAX: 089-932-7553

メール: shougai@city.matsuyama.ehime.jp

